

本大会エイジの部及びリレーの部での事前車検は行いません。

(メカニックサポートブースを設置しておりますので、希望者の方は点検できます。)

以下にレギュレーションと安全に係る点検項目を掲げておりますので、大会前日の選手受付までに自己点検と必要な整備を行い、このセルフチェック表を前日受付時に提出してください。

なお、これらは安全を約束するものではありません。各自で責任を持って点検してください。

バイク・ヘルメット セルフチェック表

JTU レギュレーション

1. 競技用具は、製作メーカー指定の取扱方法を守って使用する。	<input type="checkbox"/>
2. 競技用具の整備は、選手自らの責任で行い、常に整備された状態で使用する。	<input type="checkbox"/>
3. 危険を生じさせるおそれがある用具（ガラス製品、ヘッドフォン等）及び装飾品の使用は禁止する。	<input type="checkbox"/>
4. カメラ、ビデオカメラ等の撮影機器等の使用は禁止する。	<input type="checkbox"/>
5. 前輪の最先端を超えないハンドルバーとクリップオンバーを許可する。2つに分かれたクリップオンバーをつなぐ必要はない。全てのハンドルの先端は塞がなければならない。	<input type="checkbox"/>
6. チューブラータイヤはしっかりと接着され、クイックレバーで固定され、ホイールは正しく装着されていないといけない。	<input type="checkbox"/>
7. 顎ストラップなどの変造や外側の布カバーなどのヘルメットのの一部を取り外すことを禁止する。	<input type="checkbox"/>

バイクの安全チェック項目

1. ドロップハンドルを基本とする。プルホーン形ハンドルは許可。フラットバーの使用は不可。	<input type="checkbox"/>
2. ハンドルバーはバーテープを巻き、そのバーエンドはしっかりとふさぐこと。	<input type="checkbox"/>
3. ハンドル廻りのガタがない。(ヘッドパーツ、ステム、ハンドルバー、DHバー、ブレーキブラケットのネジのゆるみ)	<input type="checkbox"/>
4. サドルのゆるみがない。(シートポストとサドルのネジのゆるみ)	<input type="checkbox"/>
5. 前後ブレーキの効き具合は適正で、下り坂で停止することができる。また、ブレーキシューは減りすぎていない。	<input type="checkbox"/>
6. 車輪のゆるみ、ハブのガタ、車輪の振れ（競技に支障のない範囲）がない。	<input type="checkbox"/>
7. 使用禁止備品は装着していない。(泥避け・スタンド・車輪カバー・チェーンカバー)	<input type="checkbox"/>

ヘルメットのチェック項目

1. バイク競技用の硬質ヘルメットを使用する。以下基準のいずれかに適合したものを推奨。 日本自転車競技連盟(JCF)、米国規格協会(ANSI Z-90.4)、スネル記念財団(snell)、スウェーデン消費者機構、その他JTUが認めるもの。	<input type="checkbox"/>
2. 改造	
(1) いかなる改造もしていない。	<input type="checkbox"/>
(2) 飾りなどの付属品を付けてはいない。但し、バイザー等の正当なものは許可。	<input type="checkbox"/>
(3) ストラップベルトの改造(ゴムベルト等伸縮性素材の使用など)はしていない。	<input type="checkbox"/>
3. 割れ	
外装、および内部にひび割れがない。	<input type="checkbox"/>
4. 適合サイズとストラップベルトの長さ調整	
(1) 頭にフィットしている。	<input type="checkbox"/>
(2) ストラップベルトの長さは適正である。 しっかりとかぶり、アゴを突き出した状態でベルトがアゴから外れないこと。	<input type="checkbox"/>

※セルフチェックしたら右□枠に「レ」記入

上記によりセルフチェックを行いました。

レースナンバー _____

参加者署名 _____

(レースナンバーはホームページに掲載しておりますので、確認し転記してください。)